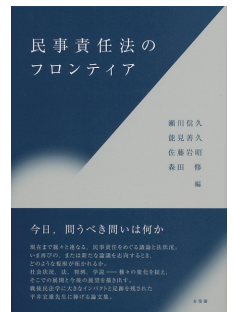


民事責任法のフロンティア

瀬川 信久 (北海道大学名誉教授), 能見 善久 (東京大学名誉教授),
佐藤 岩昭 (上智大学教授), 森田 修 (東京大学教授) / 編

2019年3月 A5判上製カバー付, 574ページ
定価 13,200円 (本体 12,000円) ISBN 978-4-641-13799-8

社会の変化や法改正の動向とともに研究もまた一段と進展を続ける民事責任法。
いま再びの、または新たな論議の中で、どのような視座が拓かれるか。
種々の動きを捉え、そこでの展開と今後の展望を描き出す。
戦後民法学に大きなインパクトと足跡を残された平井宜雄先生に捧げる論文集。



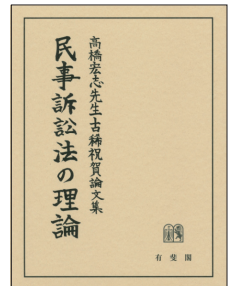
記念 論文集

民事訴訟法の理論 -- 高橋宏志先生古稀祝賀論文集

高田 裕成 (東京大学教授), 山本 弘 (神戸大学教授), 山本 克己 (京都大学教授),
松下 淳一 (東京大学教授), 畑 瑞穂 (東京大学教授) / 編

2018年2月 A5判上製箱入, 1434ページ
定価 33,000円 (本体 30,000円) ISBN 978-4-641-13780-6

高橋宏志先生の古稀をお祝いし、学界・実務界を牽引する執筆陣による珠玉の論攷 52 篇を収録。
民事訴訟法理論の“いま”と“これから”を描き出す。

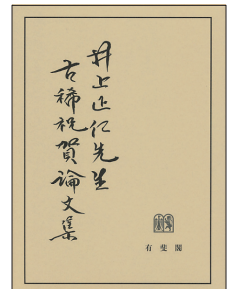


井上正仁先生古稀祝賀論文集

酒巻 匡 (早稲田大学教授), 大澤 裕 (東京大学教授),
川出 敏裕 (東京大学教授) / 編著

2019年3月 A5判上製箱入, 924ページ
定価 20,900円 (本体 19,000円) ISBN 978-4-641-13931-2

井上正仁先生の古稀をお祝いし、学界・実務界を牽引する執筆陣による珠玉の論攷 40 篇を収録。
刑事訴訟法理論をめぐる現在を描き出す。

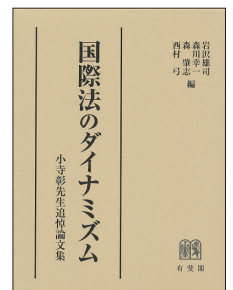


国際法のダイナミズム -- 小寺彰先生追悼論文集

岩沢 雄司 (国際司法裁判所裁判官), 森川 幸一 (専修大学教授),
森 肇志 (東京大学教授), 西村 弓 (東京大学教授) / 編

2019年4月 A5判上製箱入, 808ページ
定価 18,700円 (本体 17,000円) ISBN 978-4-641-04681-8

2014年2月に61歳で逝去された小寺彰先生を偲び、先生とともに研究し、
あるいは先生から指導を受けた研究者が捧げる論文集。

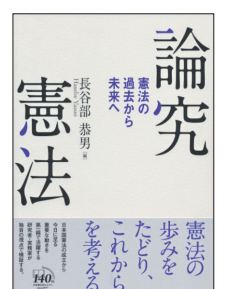
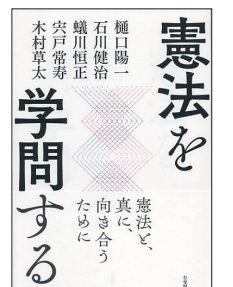


憲法を学問する

樋口 陽一 (東京大学名誉教授),
石川 健治 (東京大学教授),
蟻川 恒正 (日本大学教授),
穴戸 常寿 (東京大学教授),
木村 草太 (首都大学東京教授) / 著

2019年4月 四六判並製カバー付, 394ページ
定価 2,970円 (本体 2,700円) ISBN 978-4-641-22752-1

政治的・党派的な文脈で語られがちな憲法。はたと気付くのは、その情報が
断片的で色味のついたものばかりであるということ。
真に憲法と向き合うために知っておくべきことは何か。
議論の渦に飛び込むために、憲法の本質と一緒に考えてみませんか。



論究憲法 -- 憲法の過去から未来へ 長谷部 恭男 (早稲田大学教授) / 編

2017年5月 A5判並製カバー付, 474ページ
定価 4,180円 (本体 3,800円) ISBN 978-4-641-22728-6

論究ジュリスト「憲法」特集に掲載した論文を再構成。日本国憲法成立から今日に至る、憲法上の重要な動き
(判例) を理論的に読み解きながら、憲法のこれまでを理解し、これからを考える。

憲法

違憲審査 -- その焦点の定め方

千葉 勝美 (元最高裁判所判事, 弁護士) / 著

2017年5月 四六判上製カバー付, 214 ページ
定価 2,750 円 (本体 2,500 円) ISBN 978-4-641-22724-8

裁判官出身の最高裁判事として、最高裁の多数意見の形成に影響を与えているといわれた著者が、
大法廷事件を始めとした重要な憲法訴訟に関して、自身の補足意見を手掛かりに、司法の立ち位置を考察する。



憲法判例と裁判官の視線 -- その先に見ていた世界

千葉 勝美 (元最高裁判所判事, 弁護士) / 著

2019年10月 四六判上製カバー付, 276 ページ
定価 3,520 円 (本体 3,200 円) ISBN 978-4-641-22777-4

最高裁の裁判官はどのような思考のもとに憲法判断を行っているのか。
歴代の最高裁判事の議論の多くに直接・間接に接し、自身も最高裁判事として憲法判例の形成にかかわった著者が、
時代を画した主要な憲法判例 13 件を取りあげ、その背景事情をも踏まえて考察する。

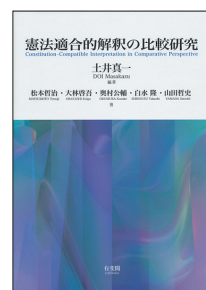


憲法適合的解釈の比較研究

土井 真一 (京都大学教授) / 編著 松本 哲治 (同志社大学教授),
大林 啓吾 (千葉大学准教授), 奥村 公輔 (駒澤大学准教授),
白水 隆 (千葉大学准教授), 山田 哲史 (岡山大学准教授) / 著

2018年12月 A5判上製カバー付, 286 ページ
定価 6,600 円 (本体 6,000 円) ISBN 978-4-641-22751-4

日本における議論状況を明らかにした上で、アメリカ・カナダ・ドイツ・フランスにおける憲法適合的解釈を
比較法的に分析し、日本法におけるそれとの関係につき、定位をこころみる。



行政行為と司法的統制

-- 日仏比較法の視点から (北海道大学大学院法学研究科叢書 20)

亘理 格 (中央大学教授) / 著

2018年6月 A5判上製カバー付, 486 ページ
定価 9,240 円 (本体 8,400 円) ISBN 978-4-641-22742-2

フランス行政法との比較法的視点から、わが国の行政行為論を再構成する。



行政契約の機能と限界

(北海道大学大学院法学研究科叢書 21)

岸本 太樹 (北海道大学教授) / 著

2018年12月 A5判上製カバー付, 478 ページ
定価 8,250 円 (本体 7,500 円) ISBN 978-4-641-22759-0

ドイツにおける議論の展開及び立法動向等を踏まえながら、体系化の実現可能性ないし
現時点で実現しうる体系化の程度について深く考察を加える著者渾身の研究成果。

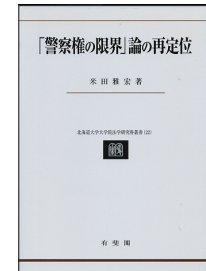


「警察権の限界」論の再定位 (北海道大学大学院法学研究科叢書 22)

米田 雅宏 (北海道大学教授) / 著

2019年4月 A5判上製カバー付, 516 ページ
定価 8,580 円 (本体 7,800 円) ISBN 978-4-641-22764-4

伝統的な「警察権の限界」論を手がかりに、現実求められる警察活動を規律する実効的な法治国家的規範体系を探究するとともに、
警察実務と対話可能な警察法理論の構築をめざす。警察法研究の新たな地平を拓く、気鋭の論攻。

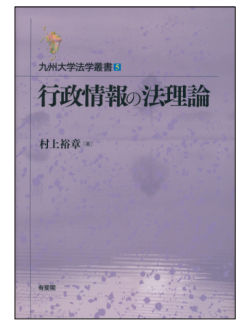


行政情報の法理論 (九州大学法学叢書 5)

村上 裕章 (九州大学教授) / 著

2018年3月 A5判上製カバー付, 422ページ
定価 8,580円 (本体 7,800円) ISBN 978-4-641-22747-7

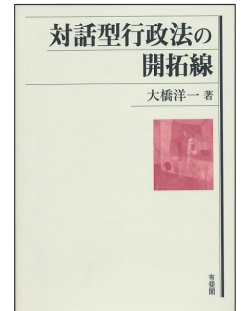
「情報公開」「個人情報保護」「行政情報手続」に分類し、それぞれの制度・解釈論、比較法研究、事例研究を通じて考察を加え、著しい進展を見せる行政情報法の全体像を明らかにする。



対話型行政法の開拓線 大橋 洋一 (学習院大学教授) / 著

2019年2月 A5判上製カバー付, 396ページ
定価 7,700円 (本体 7,000円) ISBN 978-4-641-22762-0

現代社会が提起する新規の課題に対応するべく、行政法学の守備範囲の拡大と方法論の多様化を提唱。関連諸科学の知見を取り入れた研究手法を開発、法律諸科目との協働関係の形成にも注力し、開かれた法体系の構築をめざす。関係者との対話を経て考究した最新の成果。



租税法と民法

金子 宏 (東京大学名誉教授), 中里 実 (東京大学教授) / 編

2018年11月 A5判上製カバー付, 624ページ
定価 9,900円 (本体 9,000円) ISBN 978-4-641-22754-5

珠玉の論文 32 篇を収録。これまでの「取引法の一部としての租税法」研究というアプローチを更に進め、理論的にも深化し、最新の問題をもカバーした、租税法研究の到達点を示す。

在庫僅少!



財政と金融の法的構造

中里 実 (東京大学教授) / 著

2018年3月 A5判上製カバー付, 382ページ
定価 7,700円 (本体 7,000円) ISBN 978-4-641-22715-6

現代的な金融取引の課税問題を考えるにあたり、基本原則に立ち返る——その必要性を実感した著者が、公法や私法の分類、歴史学、経済学等、すべての枠を取り払う。金銭の本質について法的に検討し、国の財政・金融に関する活動とそれをめぐる政策の基礎に横たわる法的構造を解明する。



信託課税研究の道標

中里 実 (東京大学教授), 渕 圭吾 (神戸大学教授),
吉村 政穂 (一橋大学教授) / 編著
増井 良啓 (東京大学教授), 浅妻 章如 (立教大学教授),
藤谷 武史 (東京大学教授), 神山 弘行 (一橋大学准教授) / 著

2019年12月 A5判上製カバー付, 344ページ
定価 6,820円 (本体 6,200円) ISBN 978-4-641-22770-5

信託法理の生成といった過去を振り返るとともに、信託の有する財産権の転換機能 (柔軟な受益権設定、時間を超える利益調整) に伴って生じる課税上の諸問題および租税法理論の新たな可能性を広く考察する。

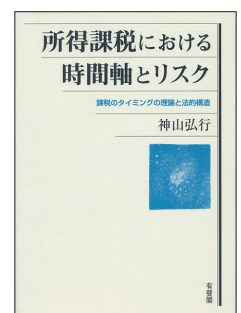


所得課税における時間軸とリスク -- 課税のタイミングの理論と法的構造

神山 弘行 (一橋大学准教授) / 著

2019年12月 A5判上製カバー付, 368ページ
定価 8,140円 (本体 7,400円) ISBN 978-4-641-22748-4

所得課税を題材に「政府の視点」と「納税者の視点」を明確に峻別した上で、時間軸とリスクの二つの側面から、伝統的な租税法理論の再構築を行う。比較法的視座に加え、法と経済学、ファイナンス理論、行動経済学等の知見も縦横に駆使して分析する意欲的研究。



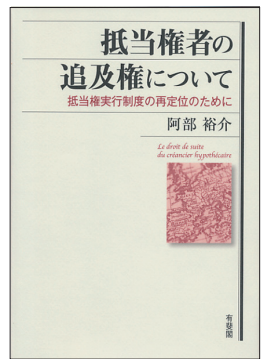


抵当権者の追及権について -- 抵当権実行制度の再定位のために

阿部 裕介 (東北大学准教授) / 著

2018年8月 A5判上製カバー付, 566ページ
定価 10,890円 (本体 9,900円) ISBN 978-4-641-13788-2

抵当不動産が第三取得者に譲渡された場合における抵当権者の追及権に関するフランス法学説史を紐解き、得られた示唆をもとに日本法上の抵当権実行制度の理論的な再定位を試みる。詳細かつ重厚な歴史研究の上に、物権法の新たな体系の可能性をも投げかける研究書。

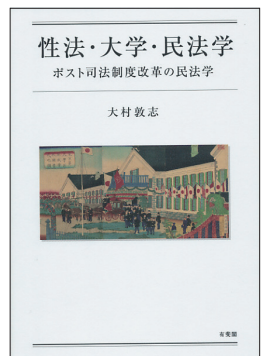


性法・大学・民法学 -- ポスト司法制度改革の民法学

大村 敦志 (学習院大学教授) / 著

2019年12月 A5判上製カバー付, 332ページ
定価 8,250円 (本体 7,500円) ISBN 978-4-641-13823-0

平成30年間は民法学にとっても変化に富んだ時代であった。時代・場所・視点によって異なる姿をみせる droit naturel, それをだれがどのようにして生成させるのか。社会法学的な民法学の伝統を発展させ、さらに法学の枠を拡張させようと試みる。



信託法理の展開と法主体 -- 会社法・民事訴訟法・倒産法との交錯

岡 伸浩 (慶應義塾大学教授, 弁護士) / 著

2019年12月 A5判上製カバー付, 450ページ
定価 8,580円 (本体 7,800円) ISBN 978-4-641-13821-6

企業法務の経験豊かで弁護士界きっての理論派である著者が、会社法における取締役、民訴法における弁護士、倒産法における管財人など実務上重要な法主体に対し、信託法理が具体的にいかなる影響を及ぼしているかを詳細に分析し、深く考察を加えた論文集。



社債のリストラクチャリング -- 財務危機における 社債権者の意思決定に係る法的規律

行岡 睦彦 (神戸大学准教授) / 著

2018年2月 A5判上製カバー付, 460ページ
定価 9,350円 (本体 8,500円) ISBN 978-4-641-22737-8

社債リストラクチャリングに係る法的諸課題と、それらに対してあるべき法的規律。社債市場のありようをも左右するものでありながら、倒産法と会社法の境界になお伏在するこの問題に、比較法的検討を踏まえて切り込み、立法論も含む新たな議論の喚起・深化に貢献する。



株主の利益に反する経営の適法性と持続可能性 -- 会社が築く豊かで住みよい社会

草野 耕一 (西村あさひ法律事務所代表パートナー, 慶應義塾大学教授) / 著

2018年4月 A5判上製カバー付, 376ページ
定価 6,600円 (本体 6,000円) ISBN 978-4-641-13794-3

企業の非営利活動は「株主利益の最大化」という会社法の大原則と両立するのか、経営者はこれを継続的に実施できるのか。長年弁護士として企業経営者の隣に立ってきた経験と数理的な知見を生かして分析、実践可能な行動指針を導く。



M&A 契約研究 -- 理論・実証研究とモデル契約条項

藤田 友敬 (東京大学教授) / 編著

2018 年 12 月 A 5 判並製カバー付, 386 ページ

定価 4,620 円 (本体 4,200 円) ISBN 978-4-641-13800-1

日本法の下で適切に機能する M&A 契約条項とはどのようなものか。共通理解の実現と深化を目指し、条項 1 つひとつの文言、意義、経済的機能を、研究者・実務家が詳しく分析・検討。「論究ジュリスト」掲載の研究会を通じての到達点・モデル契約条項を単行本化。



取締役の善管注意義務 -- コーポレートガバナンスの法的構造論

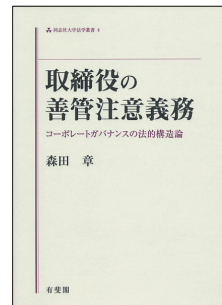
森田 章 (同志社大学教授) / 著

(同志社大学法学叢書 4)

2019 年 2 月 A 5 判上製カバー付, 298 ページ

定価 5,830 円 (本体 5,300 円) ISBN 978-4-641-13805-6

会社経営にはリスクが伴う、ときには冒険もする。しかし、失敗したとき、時として経営者は責任を問われてしまう。ただ、それでは企業活動が萎縮してしまうのではないかと。本書ではアメリカのコーポレートガバナンス制度を紹介しながら、日本の会社法上の法的問題について根本的な解決方法を提案。



民事訴訟法

民事訴訟法・倒産法の研究

山本 弘 (元神戸大学教授) / 著

2019 年 6 月 A 5 判上製カバー付, 488 ページ

定価 10,780 円 (本体 9,800 円) ISBN 978-4-641-13806-3

2018 年 3 月に急逝した著者の論文集。民事訴訟法・倒産法の議論の深化に多大な貢献をしてきた著者の論文は、現在でも参照する意義が大きい。生涯にわたる研究の素となった発想を論じた「権利保護の利益概念の研究」をはじめとする、主要な論文を収録。



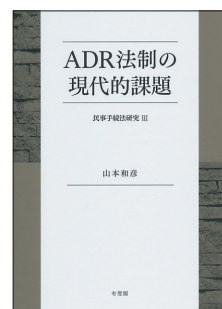
ADR 法制の現代的課題 -- 民事手続法研究 III

山本 和彦 (一橋大学教授) / 著

2018 年 11 月 A 5 判上製カバー付, 510 ページ

定価 11,770 円 (本体 10,700 円) ISBN 978-4-641-13793-6

ADR (裁判外紛争解決手続) は、判決手続と相俟って、紛争解決の質を向上させていく。ADR 法の立案や見直しに参画し、ADR 機関とも関わって、ADR 全体を様々な視角から観察してきた第一線研究者による、総合的かつアクチュアルな考究。



刑事法

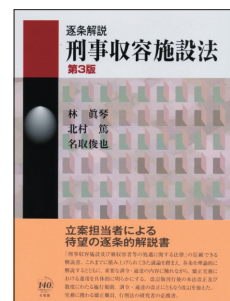
逐条解説 刑事收容施設法 第 3 版

林 眞琴 (法務省刑事局長),
北村 篤 (広島地方検察庁検事正),
名取 俊也 (弁護士) / 著

2017 年 11 月 A 5 判上製箱入, 1064 ページ

定価 9,900 円 (本体 9,000 円) ISBN 978-4-641-01845-7

重要な訓令・通達の内容に触れながら、矯正実務における運用を明らかにする。



注釈少年法 第 4 版

田宮 裕 (元立教大学名誉教授), 廣瀬 健二 (立教大学教授) / 編

2017 年 9 月 A 5 判並製カバー付, 752 ページ

定価 6,160 円 (本体 5,600 円) ISBN 978-4-641-13922-0

少年の保護と犯罪対策という二面性をもつ少年法を、少年審判実務に現に携わる裁判官・弁護士が中心となって解説した手引書。現在の実務の到達点を明らかにし、制度とその運用の実像を浮き彫りにする。

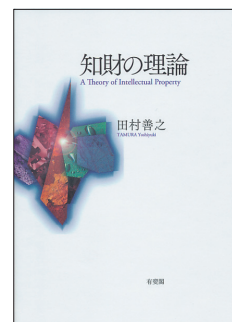


知的財産法 国際法 外国法

知財の理論 田村 善之(東京大学教授)／著

2019年12月 A5判上製カバー付, 510ページ
定価 10,780円(本体 9,800円) ISBN 978-4-641-24325-5

「知的財産」「知的創作物」とはなにか、法はそれらをどう扱うのか。知的財産法政策を様々な法分野との関係性や学際的な視点から論ずる。さらに特許法や著作権法の現代的課題の議論を経て新しい知的財産法学の潮流を展望する。

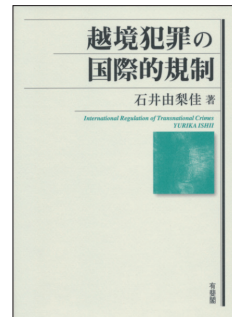


越境犯罪の国際的規制

石井 由梨佳(防衛大学校専任講師)／著

2017年8月 A5判上製カバー付, 528ページ
定価 9,130円(本体 8,300円) ISBN 978-4-641-04680-1

近年越境犯罪の規制が強まるにつれ、私人の権利との軋轢が生じるようになった。本書は越境犯罪の捜査における国家の執行管轄権の限界と、国家間協力を定める合意の下での国家の権利義務の内実を実証し、越境犯罪の国際的規制の法的諸構成を明らかにする。

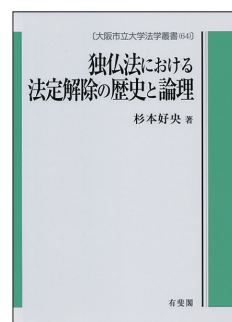


独仏法における法定解除の歴史と論理 (大阪市立大学法学叢書 64)

杉本 好央(大阪市立大学准教授)／著

2018年6月 A5判上製カバー付, 276ページ
定価 7,590円(本体 6,900円) ISBN 978-4-641-04821-8

2017年に成立した民法改正には、法定解除に関して理論的な問題が存在する。本書では独仏法における一般的な法定解除の歴史的展開を素材とする考察を行う。そして、独仏法における一般的な法定解除の形成と展開を支えた論理を明らかにして、本改正に対する示唆を行う。

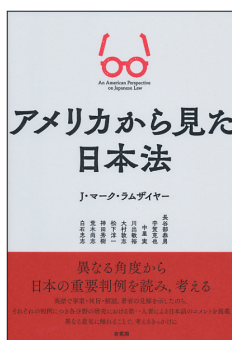


法哲学 法律一般

アメリカから見た日本法

J. マーク・ラムザイヤー(ハーバードロースクール教授), 長谷部 恭男(早稲田大学教授), 宇賀 克也(東京大学名誉教授), 中里 実(東京大学教授), 川出 敏裕(東京大学教授), 大村 敦志(学習院大学教授), 松下 淳一(東京大学教授), 神田 秀樹(学習院大学教授), 荒木 尚志(東京大学教授), 白石 忠志(東京大学教授)／著

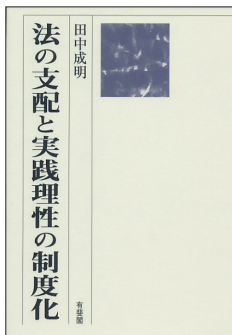
2019年10月 A5判並製カバー付, 326ページ
定価 3,850円(本体 3,500円) ISBN 978-4-641-12591-9



法の支配と実践理性の制度化 田中 成明(京都大学名誉教授)／著

2018年12月 A5判上製カバー付, 360ページ
定価 7,150円(本体 6,500円) ISBN 978-4-641-12604-6

「法の支配に基づく実践理性の制度化」という法構想の基本的な方向をさぐり、その全体的な理論枠組を再構築する意欲的論文集。法理学的な考察姿勢を明確に示しつつ、視座・構想・モデルなどについて、どのような理論枠組が構築されるのか、その基本的な方向と理論構造を明らかにする。



自動運転と法 藤田 友敬(東京大学教授)／編

2018年1月 A5判上製カバー付, 306ページ
定価 4,290円(本体 3,900円) ISBN 978-4-641-12599-5

自動運転車の普及が現実味を帯びてきた中、事故などの際の法的責任のあり方が議論となっている。本書は、研究者・実務家による検討の成果をまとめ、公表するものである。



コンメン タール

注釈日本国憲法(2) -- 10条～24条

長谷部 恭男(早稲田大学教授)／編
川岸 令和(早稲田大学教授),
駒村 圭吾(慶應義塾大学教授),
阪口 正二郎(一橋大学教授),
穴戸 常寿(東京大学教授),
土井 真一(京都大学教授)／著

2017年1月 A5判上製箱入, 548ページ
定価 6,930円(本体 6,300円) ISBN 978-4-641-01797-9

全4巻中の第1回配本。国民の権利及び義務に関する第3章の前半を収録。



『新注釈民法』全20巻

大村 敦志(学習院大学教授), 道垣内 弘人(東京大学教授),
山本 敬三(京都大学教授)／編集代表

新注釈民法(1) -- 総則(1) 1条～89条 通則・人・法人・物

山野目 章夫(早稲田大学教授)／編集

2018年11月 A5判上製箱入, 862ページ
定価 9,900円(本体 9,000円) ISBN 978-4-641-01754-2

「総説」に加えて、「第1編 総則」中の「第1章 通則」「第2章 人」「第3章 法人」「第4章 物」を扱う。
平成29年・平成30年改正対応。



新注釈民法(6) -- 物権(3) 295条～372条 留置権・先取特権・質権・抵当権(1)

道垣内 弘人(東京大学教授)／編集

2019年4月 A5判上製箱入, 836ページ 定価 9,680円(本体 8,800円) ISBN 978-4-641-01755-9

「担保物権総論」, 「第2編 物権」の「第7章 留置権」「第8章 先取特権」「第9章 質権」「第10章 抵当権 第1節 総則」を扱う。

新注釈民法(7) -- 物権(4) 373条～398条の22 抵当権(2)・非典型担保

森田 修(東京大学教授)／編集

2019年11月 A5判上製箱入, 674ページ 定価 7,920円(本体 7,200円) ISBN 978-4-641-01757-3

「第2編 物権」の「第10章 抵当権」の第2節～第4節および特別法による抵当権・非典型担保を扱う。

新注釈民法(14) -- 債権(7) 623条～696条

雇用・請負・委任・寄託・組合・終身定期金・和解

山本 豊(京都大学名誉教授)／編集

2018年10月 A5判上製箱入, 712ページ 定価 8,140円(本体 7,400円) ISBN 978-4-641-01760-3

「第3編 債権 第2章 契約」中の第8節から第14節まで(雇用・請負・委任・寄託・組合・終身定期金・和解)を扱う。
平成29年(債権関係)改正対応。

新注釈民法(15) -- 債権(8) 697条～711条 事務管理・不当利得・不法行為1

窪田 充見(神戸大学教授)／編集

2017年2月 A5判上製箱入, 984ページ 定価 11,000円(本体 10,000円) ISBN 978-4-641-01751-1

「第3編 債権」の「第3章 事務管理」「第4章 不当利得」および「第5章 不法行為」中一般不法行為を扱う。

新注釈民法 (17) -- 親族 (1) 725 条～791 条 親族総則・婚姻・親子(1)

二宮 周平 (立命館大学教授) / 編集

2017 年 10 月 A 5 判上製箱入, 804 ページ 定価 9,020 円 (本体 8,200 円) ISBN 978-4-641-01752-8

「第 4 編親族」の「第 1 章 総則」「第 2 章 婚姻」「第 3 章 親子 第 1 節 実子」を扱う。

新注釈民法 (19) -- 相続 (1) 882 条～959 条

相続総則・相続人・相続の効力・相続の承認及び放棄 等

潮見 佳男 (京都大学教授) / 編集

2019 年 10 月 A 5 判上製箱入, 776 ページ 定価 9,240 円 (本体 8,400 円) ISBN 978-4-641-01758-0

「相続総論」, 「第 5 編 相続」の「第 1 章 総則」「第 2 章 相続人」「第 3 章 相続の効力」「第 4 章 相続の承認及び放棄」
「第 5 章 財産分離」「第 6 章 相続人の不存在」を扱う。

『注釈民事訴訟法』全 5 巻

高田 裕成 (東京大学教授), 三木 浩一 (慶應義塾大学教授),
山本 克己 (京都大学教授), 山本 和彦 (一橋大学教授) / 編集

注釈民事訴訟法 第 4 巻 -- 第一審の訴訟手続 (2) 179 条～280 条

2017 年 7 月 A 5 判上製箱入, 1534 ページ
定価 19,800 円 (本体 18,000 円) ISBN 978-4-641-01794-8

「第 2 編 第一審の訴訟手続」のうち, 「第 4 章 証拠」から「第 8 章 簡易裁判所の訴訟手続に関する特則」
を扱う。



注釈民事訴訟法 第 5 巻

-- 上訴・再審・手形小切手訴訟・少額訴訟・督促手続・執行停止 281 条～405 条

2015 年 12 月 A 5 判上製箱入, 914 ページ
定価 9,900 円 (本体 9,000 円) ISBN 978-4-641-01795-5

注釈刑法 第 2 巻 -- 各論 (1) 77 条～198 条

西田 典之 (元東京大学教授), 山口 厚 (早稲田大学教授),
佐伯 仁志 (東京大学教授) / 編集

2016 年 12 月 A 5 判上製箱入, 892 ページ
定価 11,000 円 (本体 10,000 円) ISBN 978-4-641-01782-5

団藤重光責任編集『注釈刑法』全 6 巻に連なる, 新注釈刑法 3 分冊の第 2 弾。
第 2 巻では, 刑法第 2 編「罪」の前半部分, 77 条から 198 条までを扱う。
多くの裁判例を通して実務を分析するとともに, 学説の現況を明らかにする。研究者, 実務家必携の 1 冊。



有斐閣



※執筆者の所属情報は各書籍刊行時のものです。